



逆瀬台小学校区  
10,000人のまちづくり

# ゆずり葉だより

編集・発行 / 逆瀬台小学校区まちづくり協議会 (ゆずりはコミュニティ) 事務局・広報 (発行部数) 4,200部  
(住所) 〒665-0024 宝塚市逆瀬台6丁目1番1号 宝塚市立逆瀬台小学校内  
(Eメール) yuzurihacom@a.zaq.jp (連絡先) 石谷 TEL 20-5054  
(掲示板) http://8507.teacup.com/yuzuriha/bbs (自由投稿版)  
(ブログ) http://www.voluntary.jp/weblog/myblog/230  
(ホームページ) http://yzrh.exblog.jp/ (TEL/FAX) 0797-73-8839

健康で  
明るく  
楽しい  
まちづくり



ゆずり葉コミュニティ  
ブログ・QRコード

春 第103号

## 令和3年度定例役員会(総会)は書面表決で行う予定です。

昨年来、新型コロナウイルスの影響で、役員会開催を自粛し、議決方法を書面表決に置き換える場合が多かったのですが、5役会で話し合い、今回も同様の方法を取るようになりました。

- 一、令和2年度事業報告、会計、監査報告
- 二、令和3年度役員選任
- 三、令和3年度事業計画、会計予算

**開催日時**  
令和3年4月25日(日)

**開催場所**  
三密を避けるため、集まりません。



定例役員会風景 (令和2年度)

### 『県立宝塚高校で「認知サポーター養成講座」を実施』

2020年11月26日と12月3日、2回に分けて、県立宝塚高校の3年生を対象に「認知症サポーター養成講座」を行いました。

核家族化が進む中で、日常的に高齢者と接する機会が少ない生徒も多くおられました。講座の中では、認知症かなと思われの方に気づいた時にどのように接するかを一緒に考えます。初めはとまどいながらも、学び合う中で、少しずつ言葉かけや対応の仕方を理解していく様子が伺えました。歳をとることのイメージが湧きづらい中でも、身近に祖父母がおられる生徒からは、道に迷っている方に出会った時に、持ち物の名前を確認するのはどうかと、

理解されているからこそ意見が聞け、頼もしく感じる場面もありました。高齢社会の今、生徒の皆さんも数年後には社会人になり、今後、仕事や身近な場所で認知症の方に出会う機会もあるかと思えます。今回の講座がその時に少しでも役に立つと嬉しいです。私たち地域包括支援センターはこれからも、若い世代はもちろん、一人でも多くの方に認知症について知っていただきたいながら、「認知症になっても安心して生活することができる地域」づくりにより、住民の皆様と一緒に取り組んでいきたいと考えています。

逆瀬川地域包括支援センター所長 中原

### 『令和2年10月4日(日)「福祉ネットワーク会議」を開催』

聖隷逆瀬台デイサービスセンター、民生委員・児童委員、補助委員、老人クラブ、保護司、野上児童館運営委員、人権啓発推進委員、スポーツクラブ21、健康づくり推進委員(他)の方々41人が参加され、前回に引き続き、「見守り」をテーマに、三密対策をした上で話し合いを行いました。

■前半は、各関係者からのお話

逆小PTA、各小学校長、地域包括支援センター、市、逆瀬川社会福祉協議会、宝塚市、まち協役員、宝塚市員、宝塚市社会福祉協議会、宝塚市、逆瀬川地域包括支援センター、各小PTA、逆小PTA、

ゆずり葉コミュニティを構成する各団体の役員、宝塚市員、宝塚市社会福祉協議会、宝塚市、逆瀬川地域包括支援センター、各小PTA、

■参加者の感想

初めての参加だが、こんなに多数の方(団体)が熱心な話し合いをされているのに驚いた。地域が抱える問題に取り組み力が、ゆずり葉コミュニティの中には存在していると感じた。(他多数)

■ゆずり葉コミュニティでは、今後も毎年話し合いの場を設けていく予定です。

詳細は、前回の「ゆずり葉だより」1月1日発行102号をご覧ください。(石谷)

## 令和2年度に実施した主な活動

■後半は、自分たちができること、今後の必要なこと、どのような地域にしていきたいかの話し合いを、6グループに分かれ、前半の話を聞き、日頃の様々な地域活動、見守りさえあひ、居場所づくりの活動について話し合い、情報共有や、活動する中での課題など活発に意見が出されました。各グループでの話し合いのまとめについては、様々なご意見、具体的なアイデアを出していただき、皆で全体共有しました。

### 『NPO法人生活支援の会あいかつ』の青葉台地区での活動

阪急青葉台自治会 会長 吉田康夫

- 活動範囲**  
原則として青葉台地区住民を対象に活動していますが、一部逆瀬台の方もおられます。
- 利用者数**  
会員制にしており登録会員は13名(男4、女9)で令和2年10〜12月の月平均利用人数は、30人でした。
- 今後の活動目標(課題)について**  
昨年10〜11月に1周年キャンペーンを実施して利用会員が増加しましたが、今後もこの活動を地域に浸透させていきたい。  
・支援会員(運転者:現在5名)の確保もしていきたいと考えています。

※会費及び利用料金会員3,000円/1口、賛助会員1,000円/1口(利用者)、利用料金400円/30分+ガソリン代30円/1km  
お問い合わせ先 稲垣 滋 0797-722562 090-3174-8499

### 令和2年12月15日『助け愛・デリ』を実施』

ゆずり葉だより10月1日発行101号でご紹介しました(お助け愛・デリ)逆瀬台デイサービスの厨房で手作りしたお弁当を500円/1個(お届け)を、光が丘自治会の方々を対象に人選し、12月15日(火)に実施しました。

「ゆずり葉コミュニティ」では、2019年に、住民同士のつながり、外出機会の促し、地域の見守り活動の活性化を目的に、逆瀬台自治会の住民様向けに「ナイトサロン」(会食)を開催しました。大変ご好評を頂き、今後は、対象地域を広げながら継続していきたい活動だったので、現状のコロナ禍での開催は難しいと判断し、新たな活動を模索してきました。

その結果、買い物負担軽減や、食事の偏り予防にもなるようにお弁当の配達を企画しました。今後は、他の地域へも広げていきたいと考えています。この活動が地域の支え合いや助け合いにつながるよう「逆瀬台デイサービスセンター」「ゆずり葉コミュニティ」「社協」「包括」各関係団体が協働で進めてまいります。

今後ともよろしく願っています。

逆瀬台デイサービスセンター所長 山浦

